

3. 北関東（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (北関東)	良く なっている	商店街（代表者）	来客数の動き	・梅雨明けが遅れたが、大河ドラマ館入場者が年間目標の50万人を7月中にクリアし、過去にない活況である。
		コンビニ（経営者）	単価の動き	・気温の上昇でソフトドリンク、アイスの販売量が伸びている。
		一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・天気の影響もなく7月に入り、一層県外客の増加が続いている。
		その他サービス〔葬祭業〕（経営者）	販売量の動き	・今月は過去最高の売上である。
やや良く なっている		一般小売店〔家電〕（経営者）	販売量の動き	・夏商戦が始まり、来客数が少し増えてきており、エアコンや冷蔵庫等の省エネ、高額商品の動きも良くなっている。
		百貨店（営業担当）	販売量の動き	・前年に比べ降雨日がやや多く、来客数は微減だが、客単価は上昇している。各ショップの夏物衣料セール開始日がほぼそろったことが背景にある。3か月前と比べ、やや良くなっている。
		コンビニ（経営者）	販売量の動き	・コンビニ業界にとっては7～8月が年間売上のピークになる。今月前半は非常に気温が高かったため飲料、アイスクリーム等の商品が売れたが、後半は気温が前年比マイナス5度ほどの日が続いているため、若干伸び悩んでいる。
		コンビニ（経営者）	販売量の動き	・3月の道路開通効果が現れ、前年比103%ほどで推移している。来客数も1.5%くらい増加している。
		自動車備品販売店（経営者）	販売量の動き	・4～6月はあまり販売が振るわなかったが、7月になってようやく我慢していた物に少しずつお金を使う客の反応が見えてきている。
		スナック（経営者）	来客数の動き	・宴会はいつもどおりで良くも悪くもない状況だが、個人客の動きが良く、思いがけず忙しくなる日が時々ある。
		タクシー運転手	単価の動き	・夜の遠距離の客数が、良かったり悪かったりで安定していない。
		観光名所（職員）	販売量の動き	・運輸部門は横ばいだが、売店や飲食の売上は伸びている。
変わらない		商店街（代表者）	来客数の動き	・七夕の飾りにぎやか街静か、という句が生まれるように、吹き流しの音は心地よく聞こえるが、街に人影はほとんどなく、飾り付けの苦勞も報われていないというのが現状である。
		商店街（代表者）	販売量の動き	・毎年、水着用品や登山、キャンプ用品の注文を受け付けるが、今年は予想以上に注文がない。新しくせずに兄弟のものを使うとか、友達から譲ってもらうということが増えているようで、販売量が落ちている。
		一般小売店〔精肉〕（経営者）	お客様の様子	・今月も暑さによる影響が大きく、客の動きはせいぜい土日に限られている。七夕の売出もあまりパツとしない。店頭で扱う品物の仕入れ値も、売行きが悪いため下がってきている。
		一般小売店〔家電〕（経営者）	お客様の様子	・遅い梅雨明けで暑さも今一つであり、季節商材をはじめ家電製品の動きは相変わらず良くない。客は修理できない物、必要な物は購入するが、売り手の施策や提案には乗ってこない。
		百貨店（営業担当）	来客数の動き	・購入量が今までより更に少なくなっている。
		百貨店（販売促進担当）	販売量の動き	・今まで極めて不調であった婦人アパレルは、クリアランスセール開始と共に、前年実績を確保するレベルにまで回復している。その反面、お中元ギフト商戦は法人需要の減少が顕著で、前年割れの結果となっている。全体で見ると前年実績確保には至らず、依然として厳しい状況である。
		百貨店（店長）スーパー（統括）	来客数の動き 販売量の動き	・来客数に変化がない。 ・24日までの降雨日数は13日間と、前年の19日間に比べ約30%少なく、降水量も57ミリと、前年の161ミリに比べ65%も少ないため、外出しやすさから来客数は前年比104.8%と伸びたものの、1人当たり買上点数の減少で売上高は103%にとどまっている。
		スーパー（商品部担当）	競争相手の様子	・競合店の出店、既存店の改装による影響からの回復が見えない状況で、前年割れが続いている。チラシ配布時など、集客は変わらないが客単価が若干下がっているのも影響している。

スーパー（副店長）	来客数の動き	・観光地だが、今年は晴れの日が少ないのと、選挙の影響が7月後半は首都圏からの客が前年より少ない。
コンビニ（店長）	お客様の様子	・ちょうど2か月前に大型店舗ができたが、結果的に客の流れにあまり大きな変化はないようなので、少し安心している。
乗用車販売店（経営者）	単価の動き	・ボーナスシーズンであるが、相変わらず客の財布のひもが固い。車が完全にだめになった場合に備えて、もしくはつなぎの車とiiつつ、安価な車に購入が集中しているケースが大半を占めている。
乗用車販売店（販売担当）	販売量の動き	・毎月、営業とサービス修理関係のデータを取っている。新車販売がふるわず、中古車展示場を縮小して経費節減を図っている。修理関係の入庫はさほど変わらないが、販売量、特に新車の動きがなかなかなく、上向きにならない。
住関連専門店（仕入担当）	来客数の動き	・7月中旬から気温が上がらず、季節節材の売上減が続いている。来客数も連動して減少傾向にある。
一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・夏場になっても来客数が以前と比べて増えておらず、現状維持の状況である。
一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・ランチの集客はそこそこ良いが、ディナーの来客数が極端に少なく、売上がなかなか上がらない状態である。ディナーの客が入らないと客単価も上がらないため、あまり良くない。
観光型旅館（経営者）	販売量の動き	・3か月前は大河ドラマの影響で例年よりも販売が多かったが、その後、熊本地震報道により旅行に対する雰囲気が悪くなり、6月は大きく落ち込んだ。7月になって報道も減ったことにより売上も回復してきているが、3か月前との比較では変わらない。
都市型ホテル（営業担当）	販売量の動き	・販売量の動きについて、5～6月は厳しい状況であったが、7月は3か月前の状況に戻ってきている。ただ、ようやく戻ったということで、変わらない。
都市型ホテル（副支配人）	販売量の動き	・今月は学生、スポーツ団体を中心に売上が好調である。例年この時期に見られる傾向であるが、前年までと比べると今一つ伸びが悪いように感じている。
旅行代理店（所長）	来客数の動き	・夏休みを迎えているが、天候も不安定で梅雨も明けず、客の動きは鈍い。
旅行代理店（従業員）	お客様の様子	・相変わらず消費者はお金にシビアで、財布のひもが固い。
タクシー（役員）	お客様の様子	・乗降客の様子から変わらないと感じている。
通信会社（経営者）	お客様の様子	・多チャンネルサービスは、高齢者を含む保留、解約数が相変わらず増加傾向にある。
ゴルフ場（支配人）	お客様の様子	・天候に恵まれ、キャンセルが少なく、来場者は確保できている。シニア層の多い平日、熱中症に配慮してドリンク販売を強化している。マイボトルのプレーヤーも多く見られる。涼しさを求め、県外来場者が増加している。
ゴルフ場（総務部長）	来客数の動き	・入場者の予約状況は3か月前とほぼ同様の状況である。
競輪場（職員）	お客様の様子	・入場者数、購入単価共にほとんど変化は見られない。
その他サービス [自動車整備業]（経営者）	単価の動き	・顧客動向は3か月前と同じ水準で、来客数、整備依頼台数の大きな変化もない。低単価の売上傾向で粗利は減少している。改善策を工夫するものの、状況は良くならない。
その他サービス [立体駐車場]（従業員）	お客様の様子	・来客数は若干上向いているが、必需品や買回り品は必要な物だけを買うことが多く、実際の販売量及び単価等は依然として横ばいのため、変わらない。
その他サービス [イベント企画]（職員）	お客様の様子	・変化は感じられない。
設計事務所（経営者）	来客数の動き	・新規の依頼が少ない。
設計事務所（所長）	来客数の動き	・3か月前から良い傾向にあり、今月も予算達成し、現状維持している。
設計事務所（所長）	来客数の動き	・今月は1件の問い合わせがあったが、長期戦を覚悟しなければならない物件であり、ものになるのかわからないのか、気の長い話になりそうである。
住宅販売会社（経営者）	単価の動き	・売り物件が非常に少なく、地価が横ばい、または下落傾向にあるので、売却する客が少ない。地価が上がらない限り、動きは鈍い状態が続く。

	住宅販売会社 (経営者)	競争相手の様子	・街中の貸店舗、貸家等についてはあまり進展がなく、まだ空室が多いようだが、郊外では大手外食産業の進出が目立つ。建売住宅は、価格が大分安くなったため、動いている。
やや悪く なっている	商店街(代表者)	販売量の動き	・学校販売の登山用品のあつ旋を行なっているが、今月に入り非常に注文数が減っている。大型店が多い地区は注文数が少ない。店頭での購買意欲も全く貧弱である。
	商店街(代表者)	お客様の様子	・幼稚園児、小中学生の減少により、写真館でのお宮参りや入園入学、進学記念写真など子ども写真需要が激減している。
	一般小売店[衣料](経営者)	販売量の動き	・暑くなり、天気も良いという意味では良いのだが、商品はなかなか動かず困っている。
	一般小売店[青果](店長)	お客様の様子	・店舗の来客数は少なく閑散としている。納品先である施設や病院以外の飲食店等も悲鳴を上げており、納品量もかなり落ちている。
	百貨店(副店長)	販売量の動き	・売上は前月より更に低迷している。クリアランスセールの上昇がお中元のピークと一緒にあった効果は確かに感じられるものの、従来のような爆発力はない。来客数は前年比プラス2%なのに、売上がマイナス2%というギャップがある。単価も販売数量も落ちている。
	スーパー(経営者)	競争相手の様子	・客が価格に敏感になっている。
	スーパー(総務担当)	来客数の動き	・前月の売上、来客数が前年を割っており、今月は更に減少している。食品まで落ちているので、かなり厳しい。
	衣料品専門店(販売担当)	来客数の動き	・梅雨が長引き、梅雨明けが下旬になった影響も考えられるが、それ以上に夏のセールのダイレクトメールや電話作戦を打っても、客の反応が悪い。ここのところ毎月客の動きが鈍く、徐々に来客数が減少している実感がある。いなくなってしまうのではと思うほどひどい状況である。
	家電量販店(店長)	販売量の動き	・前半は暑さの影響でエアコンが好調であったが、後半は梅雨明けが遅く、最終で前年比85%と振るわず、前半の貯金を使い果たしている。例年この時期はエアコンや冷蔵庫が売上の柱で、黒物がプラスして好調となるが、リオデジャネイロオリンピック需要はまだ出ていない。
	乗用車販売店(経営者)	販売量の動き	・ボーナス時期だが、消費者の購買意欲が感じられない。
	乗用車販売店(経営者)	販売量の動き	・前月後半から当月にかけて、取引先企業から多めの注文をもらったが、一般個人客の需要は非常に少ない。買換え意欲があまりないようで、前年同月比80%ほどである。
	乗用車販売店(管理担当)	販売量の動き	・消費者の財布のひもは固く、無駄遣いしない。英国のEU離脱問題により若干円高ではあるが、G7会議により各国との協力体制ができており、経済への影響はあまりない。それにもかかわらず国内景気は低迷している。参議院選も予想どおり自民党が圧勝しており、経済の回復、改善策は見込めない。
	住関連専門店(経営者)	販売量の動き	・1品単価の上昇はあるが、来客数や買上点数の減少により、トータルの売上高は減少傾向にある。競争の激化もあるが、可処分所得の減少により景況感には良くないと感じる。
	住関連専門店(店長)	販売量の動き	・売上の前年割れが継続している。
	その他専門店[燃料](従業員)	販売量の動き	・販売量は毎月減少しており、前年比でも減少している。
一般レストラン(経営者)	お客様の様子	・例年この時期は来客数が減少するが、今年は減少幅が大きい。出るメニューについては変化がない。梅雨明けの遅れが客足に影響していることも考えられる。	
一般レストラン(経営者)	販売量の動き	・大河ドラマに釣られて県外客は来ているが、全体的に売上が悪い。地元や近隣の客が減っている。	
スナック(経営者)	お客様の様子	・今日は何の店に行くかを決めるのは客の考えによるので、全体に辛くなっている。	
都市型ホテル(スタッフ)	販売量の動き	・景気の低迷もあると思うが、中小企業の業績が良くない影響が、7月は売上があまり良くない。8月に入るとどうなるか分からない。	

	旅行代理店（副支店長）	お客様の様子	・旅行者の動きが鈍く、カウンターの来客数も減っており、海外旅行の落ち込みも激しい。国内旅行でも選挙や天候不順、熊本地震の影響もあって、成約が少ない。	
	タクシー運転手	お客様の様子	・ゴールデンウィーク以後かなり落ち込んでおり、街中を歩いている人も少なくひっそりとしている。この辺は電話でタクシーを呼んで利用する人が多いが、電話の件数が極端に落ち込んでいる。乗務員一人当たりの平均売上が40万円に届かなくなっている。	
	タクシー（経営者）	お客様の様子	・前年7月は雨の日が多く動きが良かったが、今年は雨の日が少なかったため動きが悪く、前年同月比11%の減少である。	
	通信会社（店長）	お客様の様子	・販売は増えているが、かけている経費を回収するには至らない。	
	テーマパーク（職員）	単価の動き	・天候不順が続き、気温が上がらないことから、夏季繁忙期にもかかわらず、アイスやかき氷などの売行きが伸び悩んでいる。	
	美容室（経営者）	競争相手の様子	・例年7～8月は従業員の独立開業資金の申込相談がほとんどないが、今年は男性2名、女性1名が開店準備をしている。人口は増えないものの店だけは増加しており、固定客が自然と減るので、売上等も減少している。	
	悪くなっている	百貨店（店長）	販売量の動き	・以前は全体的に厳しくても高額品は売れていたが、このごろは売れなくなっている。
		通信会社（経営者）	販売量の動き	・当社のみが売上悪化をたどっているのかと同業他社にも話を聞いたが、市内、県内の同業者共に景気の悪化を実感している。
企業動向関連 (北関東)	良くなっている	輸送用機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・自動車メーカーの北米輸出が増加している。
		その他製造業 [環境機器]（経営者）	受注量や販売量の動き	・3つのメイン事業の一つである環境事業のうち、フロン回収機が2001年より家電リサイクル法の廃家電プラントとしてスタートしている。その時々に関係、販売納入してきたものが一巡しており、予想通り今は受注が減少している。太陽光発電事業は順調に進み、自社発電所が現在6か所で4メガになる。
	やや良くなっている	化学工業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注量、売上が減少した部門と増加した部門とあり、まだら模様である。数字的に大きな変化は見られないものの、上向き方向にあると感じている。
		窯業・土石製品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・予算の前倒しが発注されたので、少し動きが出てきた。
		金属製品製造業（経営者）	取引先の様子	・顧客から短納期の注文が入り、ばたばたしている。
		輸送業（営業担当）	取引先の様子	・7月は天候に恵まれ、月末まで暑い日がほぼ毎日続き、特に季節商材のエアコン、扇風機、飲料水等の物量が増え、15%ほど輸送量が増えている。
		司法書士	受注量や販売量の動き	・本当にわずかにという範囲で良くなっている。
	変わらない	一般機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・売上が前年同月比2割減の状況である。全体的に一つ一つの案件ボリュームが小さくなっており、数字を積み増すのが困難である。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・3月から続いている売上減にやっと歯止めがかかってきた。まだ景気回復とまでは行かないが、徐々に動き出しているように感じる。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・相変わらず安定した仕事はなく、コストはますます厳しくなっている。
		輸送用機械器具製造業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・この2～3か月の受注量、取引先の様子等は、どちらかといえば良い方向であるが、あまり変わらない。
		金融業（経営企画担当）	取引先の様子	・観光関連業種は、インバウンド旅行者の増加により収益が増加し、収益資金を宿泊施設の修繕費用に回している。また零細事業者では、インバウンド旅行者用の素泊まり宿泊施設の新規開業計画が数件ある。製造業は既往取引先からのコストダウン要請があり、厳しい交渉が行われている。
		新聞販売店 [広告]（総務担当）	受注量や販売量の動き	・今月のチラシ出稿量は前年比101.7%だが、家電量販店の大打出がかったものの、梅雨が長引き涼しい日が長かったためか、衣料品の売上は鈍く、参議院選関連のチラシが4.8%を占め、実質的には前年を下回っている。

		経営コンサルタント	取引先の様子	・本来の夏らしい夏とならず、シーズンものや季節性の高い商品、サービス等の消費が出遅れている。人出はあるが夏物小売等の購買需要が十分でなく、物流関連にも影響が出ている。
		社会保険労務士	取引先の様子	・小売業では低価格品ばかり売れ、利益が出ていないところが増えている。
		その他サービス業〔情報サービス〕(経営者)	受注量や販売量の動き	・受注状況からみても、特段の変化は見られない。
やや悪くなっている		食料品製造業(製造担当)	競争相手の様子	・販売量が思うように伸びず、むしろ減少しているという話を聞く。
		窯業・土石製品製造業(経営者)	取引先の様子	・一般商品、特注品共に受注動向が悪化している。特注の話はあるものの、他商品との競合に勝てず受注につながらないケースがほとんどである。
		建設業(総務担当)	受注量や販売量の動き	・ここ数年で一番受注がなく、焦りを感じる。
		金融業(調査担当)	取引先の様子	・当行の業況アンケート調査では、企業の全産業の景況感は2期連続で悪化している。これまで比較的高い水準にあった非製造業でマインド低下が続いており、製造業も一進一退の状況にある。
		不動産業(経営者)	それ以外	・若い客層の二極化が極端に出てきている。
		広告代理店(営業担当)	受注量や販売量の動き	・前年より広告出稿が2割も落ちている。7月は控え、8月に予算をシフトしている模様である。
悪くなっている		電気機械器具製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・前月と同様の傾向である。
		その他製造業〔宝石・貴金属〕(経営者)	受注量や販売量の動き	・問屋は、引き続き売れていないため、極端に仕入れを抑えている。特に九州は熊本地震、大雨の影響で大きく減少している。小売では様々なイベントと組み合わせで来場者を増やす努力により、前年並みの集客ができてはいるが、売上は厳しく、1人当たりの売上単価や利益率も下がっている。
		建設業(開発担当)	受注量や販売量の動き	・現政権成立後3年間、公共工事は順調に推移しているが、今年度は3か月経過で発注額が前年比83%と大変厳しいスタートとなっており、なかでも市町村発注が前年比69%と特に厳しくなっている。今後の経済政策に期待している。当社受注も現時点で前年比85%と厳しい状況である。
		不動産業(管理担当)	受注量や販売量の動き	・今まで受注していた定期作業が急きょ中止になることが増え、業務量が減ったため、売上が減少している。先方の維持管理コストの見直しが要因だが、今まで特に言っていない既存取引先からも値引き要求され始めている。
雇用関連 (北関東)	良くなっている	人材派遣会社(支社長)	求人数の動き	・7~8月の閑散期だというのに、引き続き派遣、紹介共に前年並み以上の受注が続いている。
	やや良くなっている	人材派遣会社(管理担当)	求人数の動き	・製造関連の派遣求人数が増加している。
		職業安定所(職員)	求人数の動き	・業種により偏りはあるものの、製造の求人が増加傾向にある。
	変わらない	職業安定所(職員)	求人数の動き	・新規求人数及び有効求人数が増加傾向を示している。製造業などでも正社員求人が増加している。
		人材派遣会社(経営者)	求人数の動き	・公共事業や住宅関連、土木建設、建築は横ばい状態が続いている。機械部品や電子等の製造部門は、生産調整もなく、かえって求人も多く出し、活発さを見せている。衣料品等の夏物商戦は、今月は補充程度である。生鮮食料品なども購買力は上がっているように見受けられる。
		人材派遣会社(経営者)	採用者数の動き	・今のところ会社から頼まれるのも、引き取って下さいという話もなく、穏やかであり変わりがない。
		人材派遣会社(営業担当)	雇用形態の様子	・採用条件が依然として変わらない。
	やや悪くなっている	求人情報誌制作会社(経営者)	周辺企業の様子	・飲食店では全体的に人手不足が続き、時給をぎりぎりまで上げて募集をしている店が多いが、応募者は少ない。正社員はもとよりパート、アルバイトも少なく、極めて深刻である。
		職業安定所(職員)	求人数の動き	・6月の求人倍率は1.46と相変わらず高い倍率になっているが、求人数の伸びは鈍化しており、求職者数も若干減っている。産業別でみると、サービス関連、卸小売関係は依然として人手不足感があるが、他の産業ではほとんどが前年同月比で減少傾向である。

悪く なっている	-	-	-
-------------	---	---	---